

永野賢 （賢の） 國語學者。大正十一年千葉縣生れ（一九二一）。昭和十九年東京帝國大學文學部國文學科卒。國語研究所所員、東京學藝大學助教教授歴任。

著書『暮しのことば』（合著・木下順一編、昭和二十八年十二月十五日河出書房「河出新書」）、『言葉の魔術——ことばの研究室』（合著・日本放送協会編、昭和二十年九月二十五日大日本雄弁会講談社「シリオン・ブックス」）、『ことばの魅力——ことばの研究室』（合著・日本放送協会編、昭和二十五年八月十日講談社「シリオン・ブックス」）、『実践学校文法』（昭和二十六年六月明治図書出版株式会社）、『國語教育新書』（『國語の素養』（昭和四十一年九月一日其文社）、『日本語の思考と論理』（昭和四十二年四月十一日大東急記念文庫「文化講座シリーズ」）、『ことばの風俗学』（昭和四十四年十月二十五日明治書院）等。

